

「シャインマスカット」の花穂先端が異常な時に！ 効果的な上部支梗利用方法と省力効果

【概要】

1 「シャインマスカット」の花穂先端に異常（図1 A、B）が認められた場合、花穂整形時に上部支梗を利用し、ジベレリン処理（以下、GA処理）時にホルクロールフェニユロン液剤（商品名：フルメット液剤）を5 ppm 加用することで、花穂先端利用と同等の果房が収穫でき、花穂整形等の作業時間を約3割削減することができます。

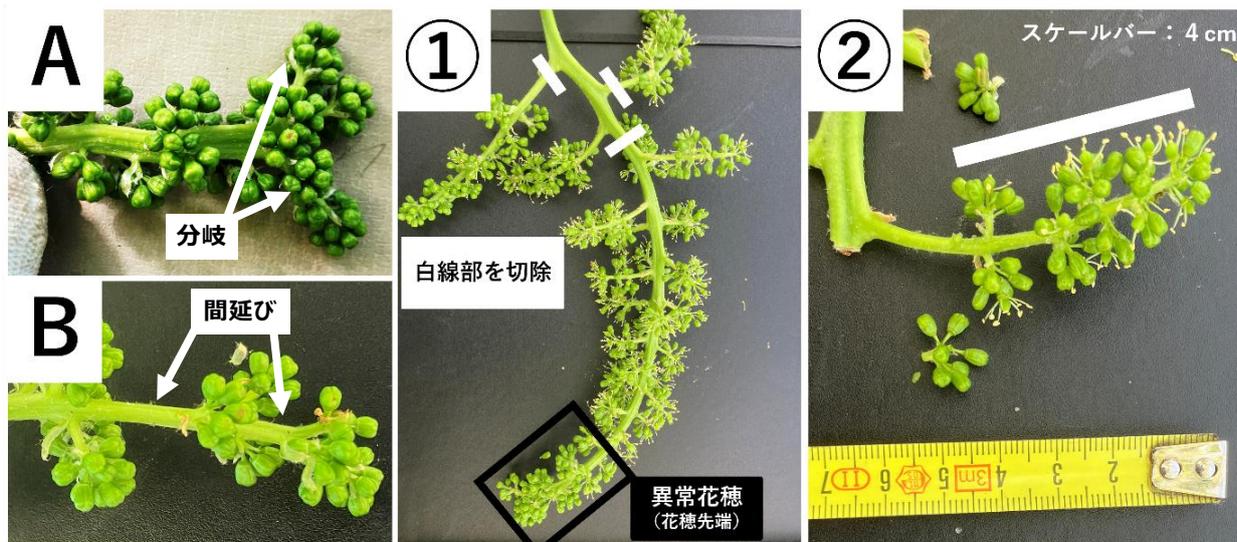


図1 「シャインマスカット」における花穂先端の異常（A、B）及び上部支梗を利用した花穂整形方法（①、②）

2 上部支梗利用方法

- (1) 開花直前に、花穂上部の長さが約4 cmの支梗を選択し、その支梗まで花穂を切り上げ、その他の支梗を切除します（図1 ①）。
- (2) 残した支梗の長さを4 cmに調整します（図1 ②）。

3 留意事項

- (1) 上部支梗を利用した場合、花穂の位置や向きがバラつくため、GA処理に時間がかかりますが、花穂整形時間は大幅に短縮されます（表1）。
- (2) 上部支梗は、花穂先端と比較し着粒数が少ないですが、1回目GA処理時にホルクロールフェニユロン液剤を加用することで着粒数を確保できます。

【試験データ等】

表1 「シャインマスカット」における上部支梗の利用が花穂整形及びGA処理作業時間に及ぼす影響（R7）

試験区	花穂整形時間		1回目GA処理時間		2回目GA処理時間		花穂整形～GA処理時間合計	
	(分:秒)	割合※1 (%)	(分:秒)	割合※1 (%)	(分:秒)	割合※1 (%)	(分:秒)	割合※1 (%)
上部支梗	01:23	36.6	00:57	126.8	01:16	141.7	03:36	66.3
花穂先端（慣行）	03:47	100.0	00:45	100.0	00:53	100.0	05:25	100.0

※1 割合：慣行を100とした場合の割合 ※2 1区10房の作業時間を計測（3反復）

【令和7年度成果】ぶどう「シャインマスカット」の花穂整形時における上部支梗利用方法と省力効果（R7-指-11）